

展示会終了後の商談にブース VR（マターポート）を有効活用 BuildApp ブース 第1回建設DX展出展レポート



野原ホールディングス株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）は、新サービスブランド BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp（ビルドアップ）」（β版）を第1回建設DX展（2021年12月8日に終了）に出展いたしました。

建設DX展は第1回目ということで、大変注目度が高い中、弊社ブースには多くの皆さまにご来場いただき、盛況のうちに終わることができましたこと、心より感謝申し上げます。

（来場者数：31,253名※主催者発表¹／ブース訪問者数：約1,500名 ※弊社実績）

展示会終了後の商談にブース全景VR（マターポート）を有効活用

弊社は、Matterport（マターポート）社の「Matterport Pro2 3Dカメラ」（実空間や建物全体を丸ごと撮影し、3次元で捉えることができる赤外線スキャンカメラ）を使用し、展示ブースをVR空間化しています。

会期終了後のお客さまとの商談にブース全景VRを活用することで、BuildAppのサービス内容や会場での体験を想起しやすい点が、お客さまに大変ご好評をいただいております。



■会期終了後でも、臨場感あふれるVRブースでお客様への提案が可能

▼BuildAppブース 全景VR

<https://my.matterport.com/show/?m=LbA8JLvfdik>

BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」に寄せられたお客さまの声

弊社ブースにて、BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp（ビルドアップ）」（β版）を体験いただいた皆様からは、次のような声が寄せられました。

私たちは、皆様からの期待を力として、今後も皆様と共に、建設業界のアップデートを進めて参ります。

<お客さまの声>

「DXによる効率化やBIMの活用がイメージしやすかった」

「BIMを使った一連のサービス、目指す将来に共感ができた」

「各プロセスのサービスが自社の状況に合わせて導入できる所にメリットを感じた」



■会期中の「BuildApp」ブースの様子

BIM 設計-生産-施工支援プラットフォーム「BuildApp」ブースの展示内容

「BuildApp（ビルドアップ）」は、設計積算、生産、流通、施工管理、維持管理の5つのプロセスごとに次工程との連携が容易になるサービス群を整備しています。BIMを起点としたデータが、設計から維持管理までの建設プロセス全体と関係者をつなぎます。

弊社は、政府によるデジタル化推進や、2050年までのカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）宣言を踏まえ、DXによる現場の課題解決や産業廃棄物・CO2の削減に取り組む企業を支援したいという想いから、「BuildApp（ビルドアップ）」を開発しました。

名称	「BuildApp（ビルドアップ）」（β版）
開始時期	2022年1月 ※正式版は2022年7月開始予定
価格	β版は月額費用無料、初期費用はお問い合わせください。
お問い合わせ	BuildAppサイトお問い合わせフォーム： http://build-app.jp/contact/ メール： info@build-app.jp / 電話：03-6367-1634
Webサイト	https://build-app.jp

BuildAppブランドのご紹介



ブースではブランドムービーやサービスマップを公開し、BuildAppに込めた私たちの想いを発信しました。

【BuildApp ブランドムービー】

https://www.youtube.com/watch?v=o_HNluRrCeQ

【BuildApp サービス紹介ムービー】

<https://www.youtube.com/watch?v=BABxDvv5lCU>

■ BuildApp デジタルパネルコーナー 実機デモによるサービス紹介



設計から施工・維持管理までのプロセス別や、お客様の課題に合わせた BuildApp の各サービスをご来場の方々にタッチパネルディスプレイでご案内いたしました。

お客さまのご興味に合わせたサービスのご紹介によって、適切なサービスのご案内と理解促進に繋がったと考えております。

■ BuildApp プレカット建材×QRコード/プレカット建材×AR コーナー



BIM データのプレカット情報と実ブースの施工結果を AR(複合)現実で視覚的に体験できるコーナーです。

BuildApp で生成された識別コードは、製造工程だけでなく発注や施工管理でも利用可能です。

BIM データによる正確なプレカットは環境面で問題視されている現場廃棄物の大幅な削減につながります。

■ BuildApp BIM オブジェクト×VR/施工管理×VR 体験コーナー



VR ブースでは空間上で実際の照明や什器の BIMObject（ビムオブジェクト）データの確認や BuildApp ブースの BIM データと施工経過の空間撮影映像を重ねた 360 度 VR を体験いただきました。

「BIMObject（ビムオブジェクト）×VR」は、BIM モデルによる設計段階での施工、設置イメージの確認が可能のため、施工現場でのズレを削減します。

「施工管理×VR」は、BIM モデルと施工現場を 360 度 VR 撮影することで、部材や配管などの詳細情報を 3D 空間上に記録可能、Web 上で管理できるため施工状況の把握や、竣工後の資産情報の管理も容易です。

野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。

<https://nohara-inc.co.jp>



【お客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
建設 DX 推進統括部
e-mail : info@build-app.jp

【報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
経営企画部(担当：齋藤)
e-mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp

¹ 主催者 RXJAPAN 社の発表は以下をご覧ください。

https://www.japan-build.jp/content/dam/sitebuilder/rxjp/japan-build/documents/2021/jp/02-visit/ui_jp_21_tac_1209.pdf